

目指せ! 世界文化遺産

いき め こ ふん ぐん
生 日 古 墳 群
ハ ン ド ブ ッ ク



宮崎市教育委員会

みなさんは古墳を見たことがありますか？

日本列島では、古墳時代に5000基を超える前方後円墳がつけられました。

その古墳が、わたしたちの住む宮崎市内にも数多く残っています。なかでも、生目古墳群は、長さが100mを超える前方後円墳が3基あるほか、珍しい形のはにわが見つかるなど全国でも注目されています。

宮崎市では、この生目古墳群を「南九州の古墳文化」のひとつとして、世界文化遺産に登録するための取り組みをはじめました。

さあ、この本で古墳や世界遺産について学んで、実際に生目古墳群に行ってみましょう。

生目古墳群について
みんなで一緒に
楽しく学ぼう！



私たちが
ご案内します♪
よろしくね～！

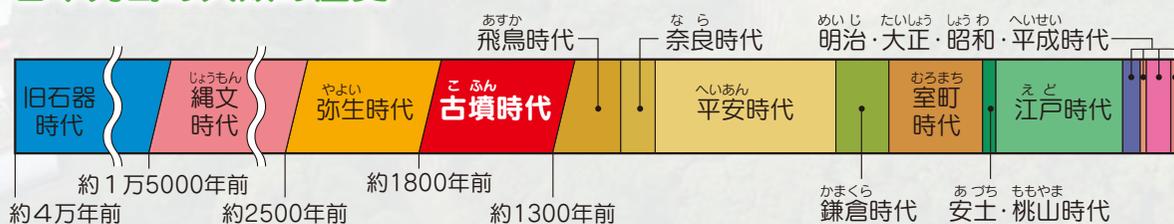
生目古墳群ハンドブックキャラクター

いっき～ めこぶん

目次

第1章	古墳とは	2
第2章	生目古墳群	6
第3章	世界遺産とは	14
第4章	楽しむ！学ぶ！遊古館	16

日本列島の人類の歴史



古墳って
何かしら？



さまざまな古墳とヤマト政権

古墳とは今から約1800年前から1300年前にかけてつくられたお墓のことです。古墳には前方後円墳、円墳、方墳などさまざまな形があり、大きさも数mのものから500m近いとても大きなものまであります。この形や大きさの差が、埋葬された人の身分や力の大きさなどを表していたと考えられています。

この古墳がつくられた時代を「古墳時代」といいます。古墳時代には、近畿地方に「ヤマト政権」と呼ばれる強大な権力をもった政治集団がありました。そのヤマト政権とのつながりを表したものの一つと考えられているのが前方後円墳です。前方後円墳は、北は岩手県から、南は鹿児島県まで広がっており、ヤマト政権の影響力が広範囲に及んでいたことを示しています。

古墳の形や大きさは何を表していたんだろう。



特に大きな古墳が、大和（奈良県）や河内（大阪府）を中心に多くつくられています。



ヤマト政権の力が次第に大きくなり、のちの飛鳥時代の朝廷になっていくのよ。

幸せです！

ありがとうございます！

われわれ我々ヤマト政権は、前方後円墳でいこ～！君たち、つくっていいですよ！！



ヤマト政権のえらい人物

がんばります！

てげうれし～！

ピックアップ

古墳時代の技術と文化

古墳時代は鉄製の農具が普及し始め、須恵器をつくる技術が伝わった時代です。この頃、大陸から日本に移り住んだ人たちが土木や建築などのすぐれた技術や漢字などを伝えたため、日本の技術や文化が急速に進みました。



生目7号墳出土の須恵器



須恵器をつくる技術はどのように伝わったんだろう。

最大の古墳

日本最大の古墳は大阪府堺市にある大仙古墳（仁徳天皇陵）で、長さが486m、高さが35mあります。当時の工法で1日最大2千人が働いたとして、完成までに15年8ヶ月かかったという試算もあります。

仁徳天皇陵は、クフ王のピラミッド（エジプト）、秦の始皇帝陵（中国）と並ぶ世界3大墳墓の一つといわれているのよ！



大仙古墳（仁徳天皇陵）（堺市）
©国土画像情報（カラー空中写真）
国土交通省

多くの古墳が集まる「古墳群」

古墳が集中してつくられた一帯を「古墳群」といいます。古墳群はさまざまな形や大きさの古墳で形成されています。宮崎県内の古墳群では、西都原古墳群（西都市）や生目古墳群（宮崎市）などが有名です。[詳しくは12, 13ページ]

このような古墳群を上空から見ると、前方後円墳の向きは一定でないことがわかります。

どうして前方後円墳の向きが不規則なのか、その理由は、地形の影響やつくられた時代が違うことが原因と考えられています。



西都原古墳群（西都市）



大工事！古墳づくりと地域の豪族

作画：早川和子

古墳時代になり、日本各地で力をつけてきた豪族たちは、自分の力を示すために、大きな古墳をつくるようになりました。そのため、権力の象徴である古墳は小高い丘の上や海の近くなど、見通しのよい目立つ場所につくられました。

古墳時代にはダンプトラックやブルドーザーなどの工事に使う機械はありません。木を切る仕事や土を掘ったり運んだりする仕事は、すべて手作業でおこなわれました。

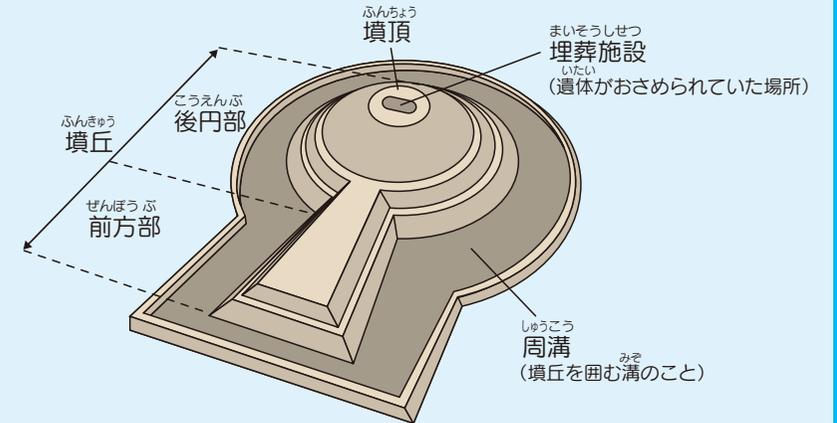
古墳づくりには多くの人手が必要でした。多くの人びとを集め、古墳づくりを指揮することのできる豪族の力はやはり強大だったと思われます。

意外に複雑な古墳のづくり

古墳は土を山のように積み上げただけの丘ではありません。特に前方後円墳は、細かな設計図に基づいてつくられたと考えられています。

豪族の遺体を埋葬するためにつくられる「墳丘」には、大雨などで土砂くずれを防止するために、土がていねいに盛られました。さらに墳丘の斜面には「ふき石」と呼ばれる石が並べられました。また、墳丘の平らな部分にはつばや筒、人や動物の形をした「はにわ」が並べられることもありました。

前方後円墳の構造

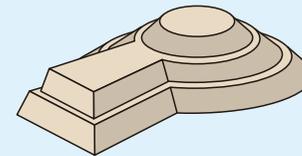


はにわの種類



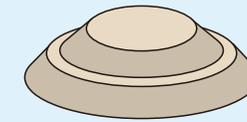
古墳の種類

前方後円墳



古墳時代を象徴する最も有名な古墳の形です。上から見ると鍵穴の形をしています。

円墳



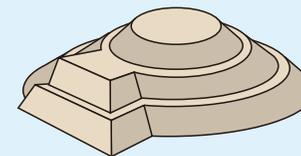
最も多くつくられた古墳の形で日本全国に分布しています。

方墳



古墳時代を通してつくられた古墳ですが、数は少なく宮崎県内では5基しか確認されていません。

帆立貝形古墳



上から見ると帆立貝の貝殻の形をしています。日本でいちばん大きな帆立貝形古墳は西都原古墳群の男狭穂塚古墳で長さが176mあります。

横穴墓



山の斜面に横から穴を掘って遺体を埋葬するお墓です。古墳時代の終わりごろからつくられ始めたお墓で、宮崎市内では蓮ヶ池横穴群で見学できます。



3号墳 ▶P8
墳丘の長さが137mある生目古墳群最大の前方後円墳です。古墳の表面全体が石で覆われていたことが明らかになっています。



5号墳 ▶P9
7号墳 ▶P10



9号墳 ▶P10
33号墳の発掘調査によって、33号墳を前方部とする前方後円墳である可能性が出てきました。



生目古墳群の地図

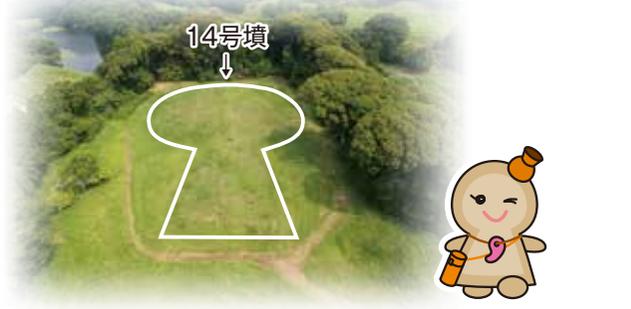
22号墳 ▶P9
墳丘の長さが101mの前方後円墳です。ふき石やつぼ形はにわが見つかっています。



21号墳 ▶P11
以前は円墳と考えられていましたが、生目古墳群で最も小さな前方後円墳であることがわかりました。



14号墳 ▶P16
墳丘の長さが63mの前方後円墳です。ふき石やつぼ形はにわが見つかっています。



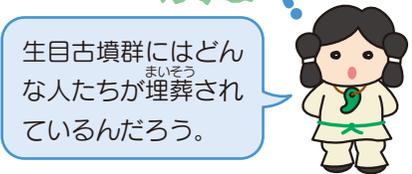
1号墳 ▶P8
古墳群の北はしにあり、復元すると墳丘の長さが約130mになる、生目古墳群で2番目に大きい前方後円墳です。大淀川やその対岸から見ると非常に目立つ場所につくられています。



発掘調査がおこなわれている時は、調査を見学することができますよ～！



3号墳に実際に自分の足で登って、その大きさを体感してみよう！



生目古墳群にはどんな人たちが埋葬されているんだろう。

生目古墳群にやってきた

生目古墳群は宮崎市跡江地区の丘の上とその周辺にある古墳群です。ここには前方後円墳8基、円墳42基、合わせて50基の古墳があります。昭和18年9月8日に国指定の文化財になり、現在まで大切に守られてきました。現在は生目古墳群史跡公園として、前方後円墳8基、円墳21基を見学することができます。

生目古墳群の最も大きな特徴は、墳丘の長さが100m以上の前方後円墳が3基もあることで、九州では生目古墳群だけです。また、これらの古墳は古墳時代の中でも比較的古い時期につくられていることから、南九州で最初に広い地域を治め、強大な権力をもった豪族が埋葬されていると考えられています。

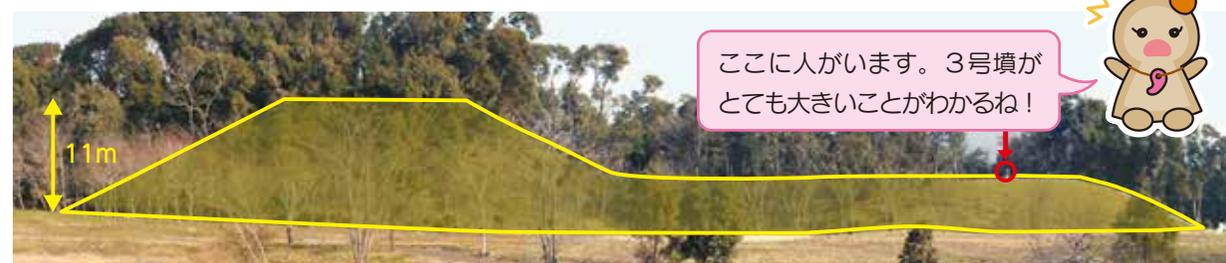
すごいぞ！生目古墳群

3号墳 南九州をたばねる最初のリーダー

墳丘の長さが137m、高さが11mあり、生目古墳群で最も大きな前方後円墳です。古墳の形から4世紀中頃につくられたと考えられており、この時期では九州最大の古墳です。当時の南九州では、西都原古墳群などにも前方後円墳がつくられていますが、その長さは最大でも80m程度です。このことから、生目3号墳に埋葬された人は、南九州の豪族をたばねるリーダーであったと考えられています。



上空から見た3号墳



離れたところから見た3号墳

ここに人がいます。3号墳がとても大きいことがわかるね！



生目古墳群の古墳について学んでみよう！



1号墳 個性あふれるふき石



ふき石の発見状況

波状ふき石（斜面上）

前方部が崩れていますが、復元すると墳丘の長さは約130mとなり、つくられた当時は九州最大級の古墳であったと考えられています。発掘調査では、後円部のふき石がほぼつくられた当時のままの状態で見つかり、当時の人がどのようにふき石を積み上げていったのかを考える上で非常に重要な発見となりました。また、全国的に見ても他に例のない波状に積み上げるふき石が発見されたことが注目されています。

22号墳 立て並べられたつぼ形はにわ

3基の巨大な前方後円墳の中で、唯一はにわが並べられていました。一般的にはにわというと、人物や家を思い浮かべますが、22号墳に並べられていたはにわは、つぼの形をした「つぼ形はにわ」です。通常つぼと違って、底に穴を開けてつぼとして使えなくしています。こうすることで、はにわとして古墳に並べたと考えられています。



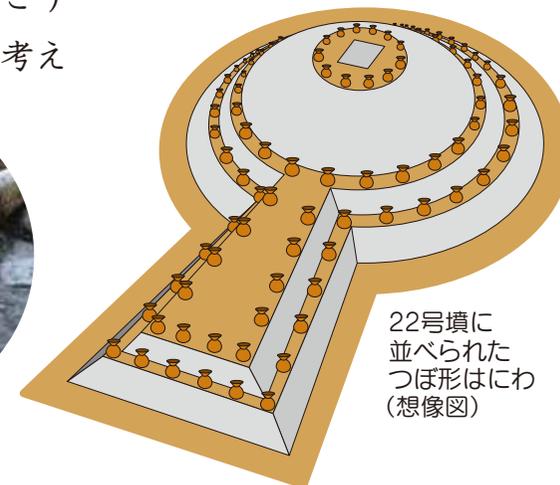
つぼ形はにわの出土状況



はにわはどのように並べられていたんだろう。



つぼ形はにわの底の穴



22号墳に並べられたつぼ形はにわ（想像図）

トピックス

5号墳 古代の巧に挑戦



発掘調査を基に、つくられた当時の姿に復元した前方後円墳です。本来の古墳の表面に保護のための土を盛り、その上にふき石を復元しています。復元作業は、土を盛る作業やふき石を並べ固定する作業など、そのほとんどを人力でおこないました。ふき石の固定はコンクリートなど現代の材料は使用せず、可能な限り当時の姿に復元しました。5号墳は古墳の長さが57mと3号墳と比較すると小さいですが、それでも復元には9万個の石を使用しました。



復元作業のようす

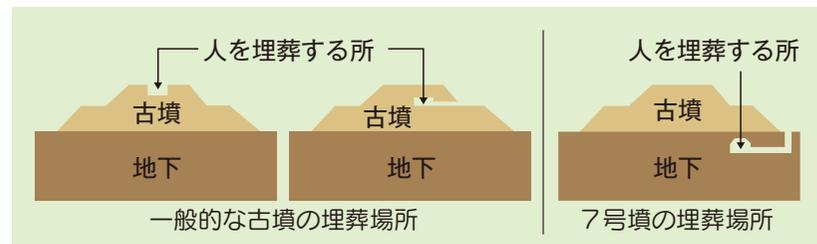


復元された5号墳

7号墳 ツツーのようでツツーじゃない

5世紀後半につくられた長さ46mの前方後円墳です。7号墳最大の特徴は、全国的に広がった前方後円墳と、主に宮崎県や鹿児島県の一部でつくられた地下式横穴墓がひとつになっていることです。発掘調査によって、7号墳の後円部の下から玄室の長さが5m以上ある巨大な地下式横穴墓が見つかりました。この玄室が後円部中心に向かってつくられていることから、7号墳はこの地下式横穴墓に埋葬された人のためにつくられた古墳と考えられています。

下の絵を見ると、墳丘の中に埋葬施設がある一般的な前方後円墳と比べ、この7号墳が変わった作りであることがわかります。



7号墳の下にある地下式横穴墓

トピックス 地下式横穴墓



地下式横穴墓の分布



地下式横穴墓の模式図

主に宮崎県や鹿児島県の一部で見られるお墓のつくり方です。墳丘の中に人を埋葬する一般的な古墳と異なり、地下式横穴墓は地下に人を埋葬する施設をつくります。

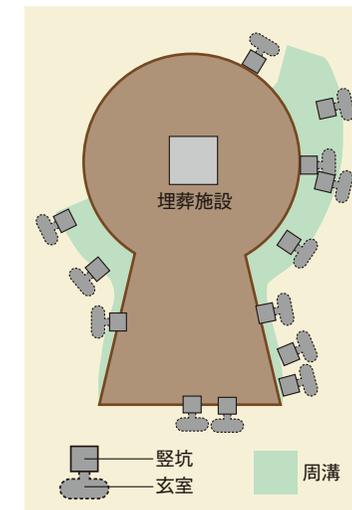
生目古墳群では、前方後円墳の下やその周囲に、地下式横穴墓がたくさんつくられるという特徴があります。

21号墳 最小の前方後円墳、最多の地下式横穴墓

4世紀前半につくられ、長さが36mと生目古墳群で最も小さな前方後円墳です。発掘調査によって、周溝の中から見つかった数としては、生目古墳群で最も多い13基もの地下式横穴墓が見つかりました。21号墳の周りの地下式横穴墓は、7号墳とは異なりすべて墳丘と逆方向に玄室がつくられています。また、これらの地下式横穴墓がつくられた時期は、21号墳がつくられてから少なくとも50~60年後のことです。このことから、これらの地下式横穴墓には、21号墳に埋葬された人の子孫など何らかの関係がある人が、埋葬されていると考えられています。



調査中の21号墳



が地下式横穴墓の位置



調査中の地下式横穴墓

年表で見る生目古墳群

生目古墳群には古墳時代のどの時期の古墳があるんだろう。



左の年表を見ても分かるように、生目古墳群の前方後円墳は古墳時代でも早い時期の4世紀から5世紀の初めに多くつくられました。生目古墳群をつくった豪族は4世紀頃に最も力を持っていたと考えられます。

南九州地方の古墳の特徴

わたしたちの住む宮崎県と隣の鹿児島県には、今も数多くの古墳が残っています。これらの古墳には次のような特徴があります。

一つめの特徴は、前方後円墳の占める割合が高いということです。古墳は全国に15~20万基あるといわれていますが、そのうち前方後円墳は3~5%しかなく、ヤマト政権とつながりの強い豪族のみがつくることのできたと考えられます。宮崎県内では古墳の10%を前方後円墳が占めており、この地域の豪族とヤマト政権とのつながりの強さを物語っています。

二つめの特徴は、大きな古墳がたくさんあるということです。南九州地方の太平洋側にある古墳が、九州地方の古墳の大きさベスト5を独占しています。古墳の大きさは埋葬されている豪族の力の大きさを示しています。このことから、これらの地方の豪族が大きな力を持っていたことが分かります。

九州の古墳ベスト10

- | | | |
|----|--------|-------------|
| 1位 | 女狭穂塚古墳 | 176m (宮崎県) |
| 1位 | 男狭穂塚古墳 | 176m (宮崎県) |
| 3位 | 唐仁大塚古墳 | 140m (鹿児島県) |
| 4位 | 生目3号墳 | 137m (宮崎県) |
| 5位 | 横瀬古墳 | 136m (鹿児島県) |
| 6位 | 岩戸山古墳 | 135m (福岡県) |
| 7位 | 石塚山古墳 | 130m (福岡県) |
| 7位 | 生目1号墳 | 130m (宮崎県) |
| 9位 | 計塚古墳 | 120m (宮崎県) |
| 9位 | 御所山古墳 | 120m (福岡県) |

南九州地方の古墳の特徴とはどんなことだろう。



他の古墳にも足を運んでみよう!



宮崎県を代表する古墳群ラインナップ

西都原古墳群(西都市)

前方後円墳32基、帆立貝形古墳1基、円墳285基、方墳2基が残る全国的にも有名な古墳群です。特に、長さが176mある女狭穂塚古墳と男狭穂塚古墳は九州で最も大きい古墳です。古墳群は公園になっており、つくられた当時の姿に復元された古墳や埋葬の様子を見学できる古墳もあります。



新田原古墳群(児湯郡新富町)

前方後円墳21基、円墳176基、方墳1基が残る古墳群です。6世紀につくられた長さ82mの百足塚古墳は発掘調査をした結果、古墳の周囲から、円筒のはにわや宮崎県では珍しい人の形をしたはにわが多数出土しました。百足塚古墳はつくられた当時の姿に復元され、見学することができます。



持田古墳群(児湯郡高鍋町)

高鍋町の中央を流れる小丸川の北側の丘の上にあります。前方後円墳9基、帆立貝形古墳1基、円墳75基が残る古墳群です。前方後円墳の計塚古墳は長さが120mあります。昭和の初めに、豪族を埋葬した石でできた棺や、墓におさめられた品物などが発見され、当時の豪族の生活を知る上で貴重な資料となっています。



第3章 世界遺産とは

いさん

日本には世界遺産がいくつあるんだろう。



世界文化遺産の登録を目指して

昭和47（1972）年、国連のユネスコ総会で「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）」が採択されました。この条約は、将来にわたって残したい遺産などを人類全体の遺産として保護することを目的としています。日本は平成4（1992）年にこの条約を締結しました。

世界中でこれまでに文化遺産832件、自然遺産206件、複合遺産35件の計1073件の世界遺産が登録されています。

このうち日本では、文化遺産17件、自然遺産4件の計21件の世界遺産が登録されています（いずれも平成29（2017）年7月現在）。

生目古墳群は「南九州の古墳文化」として、世界文化遺産の登録を目指しています。



1 法隆寺地域の仏教建造物



2 姫路城



5 古都京都の文化財



6 白川郷・五箇山の合掌造り集落



7 原爆ドーム



3 厳島神社



9 古都奈良の文化財



10 日光の社寺



11 琉球王国のグスク及び関連遺産群

名称	所在地	登録年	名称	所在地	登録年
1 法隆寺地域の仏教建造物	奈良県	1993	13 知床	北海道	2005
2 姫路城	兵庫県	1993	14 石見銀山遺跡とその文化的景観	島根県	2007
3 屋久島	鹿児島県	1993	15 小笠原諸島	東京都	2011
4 白神山地	青森・秋田県	1993	16 平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群	岩手県	2011
5 古都京都の文化財（京都市・宇治市・大津市）	京都府・滋賀県	1994	17 富士山－信仰の対象と芸術の源泉	山梨・静岡県	2013
6 白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜・富山県	1995	18 富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県	2014
7 原爆ドーム	広島県	1996	19 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業	福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿児島・山口・岩手・静岡県	2015
8 厳島神社	広島県	1996	20 ル・コルビュジエの建築作品－近代建築への顕著な貢献－	国立西洋美術館＝東京都	2016
9 古都奈良の文化財	奈良県	1998	21 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県	2017
10 日光の社寺	栃木県	1999			
11 琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県	2000			
12 紀伊山地の霊場と参詣道	三重・奈良・和歌山県	2004			

文化遺産…記念物や建物、遺跡など
 自然遺産…特徴的な地形や美しい風景など
 複合遺産…文化遺産と自然遺産の両方の価値があるもの



16 平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群



19 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業



12 紀伊山地の霊場と参詣道



17 富士山－信仰の対象と芸術の源泉



18 富岡製糸場と絹産業遺産群



14 石見銀山遺跡とその文化的景観



20 ル・コルビュジエの建築作品－近代建築への顕著な貢献－



21 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



体験学習館では、^{まがたま}勾玉や土笛づくりなどの古代体験がおこなえるほか、^{しゅくはく}宿泊研修にも利用できます。また、ボランティアガイドによる生目古墳群についての詳しい説明も聞くことができます。

遊古館で楽しく学ぼうね！



いきめ もり ゆう こ かん
生目の杜遊古館に行ってみよう

生目の杜遊古館は、平成21年に生目古墳群の隣に建てられた教育施設です。ここには、「埋蔵文化財センター」と「体験学習館」があります。

埋蔵文化財センターでは、宮崎市内の文化財の調査や保存などを行っており、生目古墳群のこゝろや遺跡から出土した土器などについて学ぶことができます。



展示室



整理作業室

遊古館ではどんなものを見ることができらるだろう。



展示室には、土器やはにわ、道具などが展示されており、映像や模型、パネルを使って分かりやすく説明しています。ここでは、生目古墳群で出土したつぼ形はにわを見ることができます。

整理作業室では、出土した土器などを復元する作業を見学することができます。



つぼ形はにわ

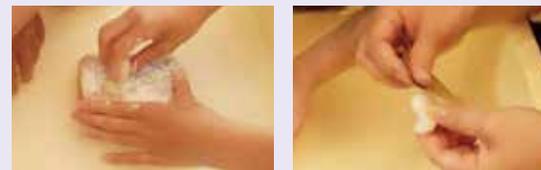


体験プログラム
材料費が必要です。



他にも楽しいプログラムがたくさんあるよ！詳しくは遊古館のホームページを見てね～！

●勾玉づくり



^{かつせき}滑石を使い、古代のかざりをつくります。

●土笛づくり



^{ねんど}粘土を使って、古代の土笛をつくります。^{かわ}乾いたら実際に吹くことができます。

●はにわづくり



粘土を使って、古墳に並べかざられていた円筒はにわのミニチュアをつくります。

●古代織り



古代の織り方「アングイン編み」を使って、コースターをつくります。

●野外炊飯



飯ごうでご飯を炊いたり、カレーや豚汁を作ります。調理の後はみんなで試食を楽しみます。

●草木染め



草花でつくった染色液を使って染物を楽しみます。



交通案内

 東九州自動車道「宮崎西IC」から約5分
JR宮崎駅から約20分・JR宮崎神宮駅から約15分

 「生目の杜遊古館」下車すぐ（土日祝のみ運行）
または「生目の杜運動公園北」から徒歩約20分

見学時の注意

- 枝を折ったり、穴を掘ったり、石を動かしたり、古墳を傷つけないようにしましょう。
- 虫がいるので、長袖、長ズボンなど、できるだけ肌を出ていない服装で、帽子をかぶると良いでしょう。
- マムシなどがいることがあるので注意しましょう。
- 熱中症に気を付けて、適度に水分をとりましょう。
- ゴミは持ち帰りましょう。

動画もチェック!!

生目古墳群
チャンネル



上から見た
古墳は
はくりよく
迫力満点!



小学校6年	組	名前
-------	---	----

● 資料提供／宮崎県教育庁文化財課、西都市教育委員会社会教育課
高鍋町教育委員会社会教育課、新富町教育委員会生涯学習課

● 発行年月／平成30年3月 初版発行

● 編集／宮崎市教育委員会 文化財課 〒880-2101 宮崎市大字跡江4200番地3